



令和3年度 予算と主要事業の概要

和歌山市
令和3年2月16日

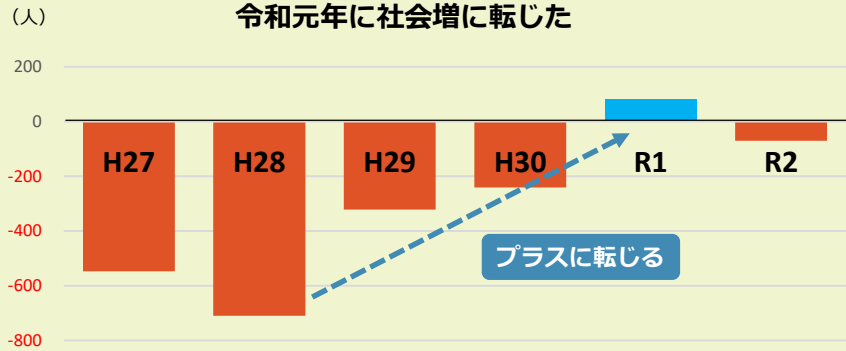


地方創生の新たな潮流をつかみ、まちの持続的発展につなげる

令和元年の本市の社会増減は、昭和49年以来初めて転入超過となりました。コロナ下の令和2年には再び転出超過に転じましたが、他方で、地方分散型社会への転換の兆しも見られます。時代の潮流を捉えた人口政策、未来を見据えた支え合いの共生社会への取組など、施策を柔軟に構築し、まちの持続的発展につなげます。

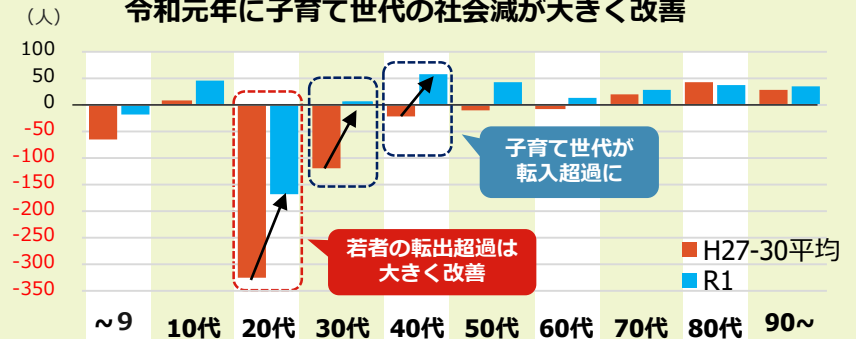
本市人口の社会増減の状況

令和元年に社会増に転じた



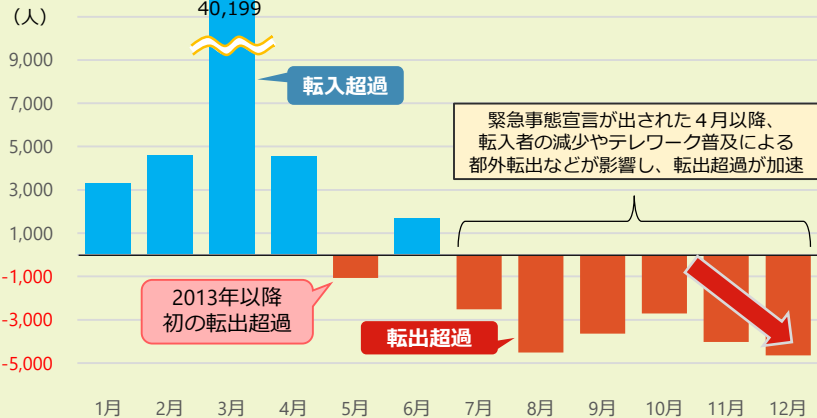
出典：住民異動届の事由別件数（転入・転出）に基づき作成

令和元年に子育て世代の社会減が大きく改善



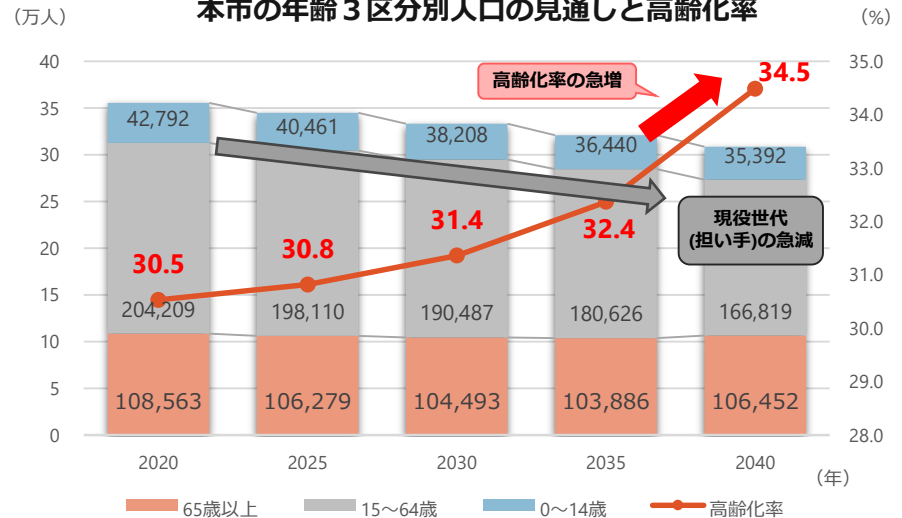
出典：住民異動届の事由別件数（転入・転出）に基づき作成

コロナ禍における転入・転出者数の推移〔東京都・2020年〕



出典：総務省統計局 住民基本台帳人口移動報告「都道府県別転入・転出者数」に基づき作成

本市の年齢3区分別人口の見通しと高齢化率



出典：社人研2018年発表推計準拠

令和3年度予算のポイント

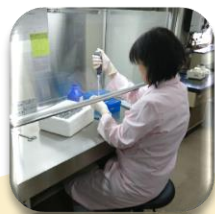
新型コロナ対策に加えて、以下の3つの政策に重点をおき、
第5次和歌山市長期総合計画に掲げる4つの分野別目標に沿って施策を網目状に推進

(1) 安定した雇用を生み出す
産業が元気なまち

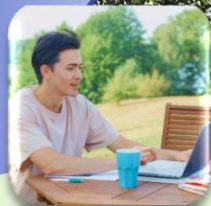
(2) 住みたいと選ばれる
魅力があふれるまち

(3) 子供たちが
いきいきと育つまち

(4) 誰もが安心して
住み続けられる
持続可能なまち



新型コロナ対策



新たな人口政策

I



支え合いの共生社会

II



新しい時代の流れを力にする
デジタル化の推進

III

令和3年度予算は、地方創生の新たな潮流を的確に捉え、持続的な発展を遂げる
「暮らしを守り、未来へ希望をつなぐ予算」

感染症対策の強化

～市民の安心を確保し、命と健康を守りぬく～

長期化する新型コロナウイルス感染症への対策として、不安の解消等のための相談窓口を充実させるとともに、児童施設や介護施設等の感染症対策、検査費の負担、感染者に対するケア等の対策を強化します。

感染の未然防止・不安解消等

総務企画課

● 相談窓口の設置＜継続＞ 14,745千円 【内示資料No.2】

相談者への適切な説明、不安の解消及び感染拡大を防ぐため、電話相談窓口を業務委託

地域保健課

● 妊婦への分娩前PCR検査＜継続＞ 29,501千円

強い不安を抱えた妊婦や基礎疾患を有する妊婦等に対し、【内示資料No.2】本人が希望する場合、分娩前PCR検査費用を継続して負担

総務企画課

● 医療従事者への慰労金給付＜新規＞ 50,000千円

塚本治雄氏の篤志を受け創設した基金を活用し、新型コロナ【内示資料No.6】ウイルス感染症の疑いのある患者の診療に従事した医療関係者に対し、慰労金を給付

介護保険課 / 高齢者・地域福祉課

● 介護施設等の感染拡大防止に向けた支援

＜継続＞ 33,207千円 【内示資料No.3】

簡易陰圧装置・換気設備の設置に必要な経費を補助

子育て支援課
保育こども園課
こども総合支援センター
教育政策課 / 青少年課
市立和歌山高等学校

● 保育所、小中学校、児童福祉施設等の

感染症対策に向けた支援＜継続＞ 127,977千円 2月補正

新型コロナウイルス感染症対策のための
物品購入費を補助 47,700千円 【内示資料No.3】

主な
対象施設

地域子育て支援拠点、児童養護施設、児童館
小学校、中学校、若竹学級、高校、公立・私立保育所等

感染対策等

● コロナ感染の妊産婦への寄り添い型ケア

＜継続＞ 450千円 【内示資料No.2】 地域保健課

新型コロナウイルスに感染した妊産婦に対し、定期的な自宅訪問や電話等により、保健師等が寄り添ったケア支援を実施

● クラスタ施設等への医師等の派遣

＜継続＞ 1,650千円 【内示資料No.1】 総務企画課

高齢者施設や学校等でクラスター感染が発生した場合に感染拡大を防ぐため、医師等を派遣し検体採取を行う



総務企画課 【内示資料No.1】

● PCR検査費用等の負担＜継続＞ 22,702千円

医療機関が実施するPCR検査等の自己負担分を公費負担

● 感染症患者の入院医療費補助

＜継続＞ 18,925千円 【内示資料No.1】 総務企画課

感染症患者の入院医療費の自己負担分を負担

事業者に対する支援

～新たな取組を支援し、事業の存続を後押しする～

深刻な影響を受けている本市事業者の方々が事業再構築を図るに当たっての取組や、経営を続けるための資金繰りに対して支援を行うことで、事業の存続を後押しし、新型コロナウイルス感染症の影響による倒産の抑止につなげます。

市内事業者の事業継続を支援

● 市内事業者の事業再構築を支援 2月補正

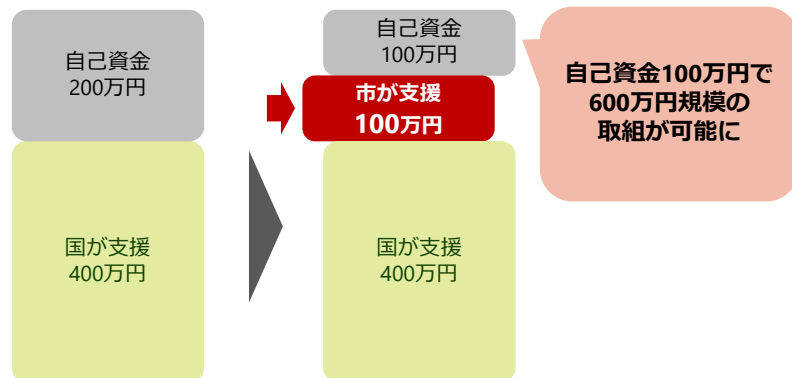
＜新規＞ 50,000千円 【内示資料No.4】 産業政策課

国の事業再構築促進事業の採択を受けた事業に対して市が上乗せ支援を行うことで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者（中小企業者）の事業継続に向けた新しい取組を促進し、企業の体力回復や倒産の抑止につなげる

市内の中小企業者が事業継続に向け
新たな取組を実施する場合.....

国の支援（補助率2/3）に上乗せし
事業費の1/6を支援
(最大**100万円**)

例えば.....



市内事業者の資金繰りを支援

商工振興課

● 小規模事業者経営改善資金（新型コロナウイルス対策）の 利子補給による実質無利子化＜継続＞ 995千円

和歌山商工会議所の経営指導を受けた小規模事業者に対し、貸付金利3年分を補給

● 和歌山市中小企業融資制度のセーフティネット資金 （保証4号・5号）及び災害復旧支援資金（拡充枠） 利用者への信用保証料の補助＜継続＞ 500千円

市税の軽減措置

資産税課

● 中小事業者等が所有する 償却資産及び事業用家屋に係る 固定資産税・都市計画税の軽減措置＜継続＞

新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した中小事業者等について、令和3年度の固定資産税・都市計画税を減免
※申告受付は終了しています

感染拡大の防止に向けた体制整備

～コロナ克服へ 総力戦で挑む～

感染拡大に歯止めをかける切り札として、大きな期待がかかるワクチンについて、接種の準備にスピード感を持って尽力するとともに、感染状況に応じて職員の増員を実施するなど、保健所体制を強化します。

感染拡大防止に向けた体制の強化

新型コロナワクチン接種調整課

【内示資料No.5】

▶ ワクチン接種会場等について

関係機関と調整中



※厚労省による「第2回自治体向け説明会資料（R3.1.25）」を基に2/10時点の本市の状況を踏まえ一部改変

● 新型コロナワクチン接種に向けた体制の確保 <新規> 1,460,657千円

| コロナワクチン接種への流れ | | ～2月 | 3月 | 4月 | 5月～ |
|---------------|-------------------------|--------------------------------|-------------|------------|--------|
| 調整主体 | 県 | 医療従事者向け優先接種 医療機関等との調整 | 冷凍庫配備等 | 体制確保 目途 | |
| 調整主体 | 市 | 高齢者向け優先接種 医療機関との調整・接種会場の確保等 | 冷凍庫配備等 | 体制確保 目途 | 冷凍庫配備等 |
| | | | 接種券の発行準備・印刷 | 郵送 | |
| | その他の方 (基礎疾患のある方等を優先) | | 接種券の発行準備・印刷 | | 郵送 |

● 保健所体制の強化 <拡充>

人事課 / 総務企画課

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、平時の約4倍にあたる90人体制を維持するとともに感染状況に応じて職員の増員を実施

総務企画課

【内示資料No.1】

● 民間委託による接触者健診の拡充 <継続> 19,800千円

保健所での接触者健診が多い時に、医療機関に検体採取・PCR検査を委託することで保健所の体制強化につなげる



01 安定した雇用を生み出す 産業が元気なまち

1. 新時代における産業の持続的発展

- ・ 移住に重点を置いた企業誘致
- ・ 地域産業の活性化
- ・ 強い農・水産業づくり
- ・ 中央卸売市場の再整備

2. 継続的な「和歌山ファン」の獲得

- ・ “オールシーズン分散型観光”の推進
- ・ 主要観光地の魅力の向上・再発見
- ・ 四季の郷公園のリニューアル
- ・ I R（統合型リゾート）の誘致

移住に重点を置いた企業誘致

～時代の潮流を読み、人と企業を呼び込む～

テレワークの浸透を背景とした企業の地方進出意欲の高まりや働きかたのシフトを契機と捉え、大都市圏の企業に対する誘致活動を強化するとともに、サテライトオフィス等の整備・活用を促進してまいります。

機運を捉えた企業誘致の推進

産業政策課

● サテライトオフィス等の提供施設整備補助

＜新規＞ 92,000千円 【内示資料No.7】

- ・ 空き店舗等を活用し、サテライトオフィス等として提供する施設を整備する方に対し費用の半額を補助
- ・ 整備したオフィスに進出する市外の企業に対し支援金を交付



イメージ

補助制度の創設により、
サテライトオフィス等として使える貸しオフィスの整備を促進

サテライトオフィス等として
提供する施設を整備



本補助金で整備した
オフィスに進出する企業



整備費用の半額を補助
最大**4,500万円**

進出支援金を交付
100万円

企業立地促進奨励金対象企業の場合は、
特例的に奨励金から相当額を先行交付

【内示資料No.8】

● 企業立地促進奨励金制度＜拡充＞ 288,208千円

- ・ 雇用奨励金の限度額を4,000万円から**1億円**まで大幅に引き上げ
- ・ ICT関連企業など先端技術産業に対する企業誘致を強化
- ・ 大都市圏に拠点を置く企業によるサテライトオフィスの立地を促進

県市の奨励金の組み合わせにより
オフィス系企業等の立地を強力に推進

IT等サービス業のオフィス立地の場合

・ 新規雇用者等の数^{*} × **90万円**

市60万円
県30万円

*県：新規地元雇用者数+転入雇用者数
市：新規雇用者数と正社員純増数のうち少ない数

・ オフィス賃借料の**100%** × **3年間**

市50%
県50%

他にも.....

市：設置奨励金、環境整備奨励金、用地取得奨励金
県：立地奨励金、通信補助金 等

6割以上転入者の場合
対象エリアが
市街化区域全域に

500名以上の新規雇用+投下固定資産額100億円以上(市)かつ
100名以上の転入雇用者等(県)で

・ 限度額が最大**20億円**(県市各10億円)

・ 転入雇用者等への住居手当等の半額を補助(県)



地域産業の活性化

～つくる・つなぐ・ひきあわせる メイドイン和歌山を拡げる～

市内事業者の生産する製品・作物等のPR支援や国内外に向けた販路拡大のサポートを行い、市産品の競争力を高めるとともに、産業を支える人材と企業のマッチングを図ることで、地域産業の活性化を図ります。

市内企業の競争力強化

● チャレンジ新商品の認定

＜継続＞ 610千円 商工振興課

市内の中小企業者が開発した優れた新商品について、「チャレンジ新商品」として認定し、PR等の支援を行う



商工振興課 【内示資料No.9】

● ビジネスチャンスの創出支援＜拡充＞ 5,700千円

- ・ 自社製品の国内外の展示会出展や開発・改良、広告宣伝費等を補助
- ・ **オンラインで開催される展示会等への出展**を補助対象事業に追加

● 先端設備の導入を促進＜継続＞ 産業政策課

- ・ 設備や事業用家屋等にかかる固定資産税の3年間の課税免除
- ・ 適用期限を令和4年度まで延長

● 地場産業の振興＜継続＞ 5,850千円 商工振興課

各工業団体が実施する需要開拓、人材育成等に要する経費の一部を補助し、工業業界の体質強化、企業の安定化と新環境への適応を図る

国際戦略の展開

国際交流課

● 国際戦略専門員の活用＜継続＞ 4,723千円

海外輸出に関する専門的な知識のある国際戦略専門員を活用し、市内事業者に対する輸出手続や語学（英語）でのサポート体制の強化を図り、姉妹都市等の友好関係にある都市などへの販路拡大を推進

● 中央卸売市場海外販路開拓支援

＜継続＞ 600千円 中央卸売市場

卸売市場で流通する生鮮食品の輸出拡大のため輸出に係る費用を助成



産業を支える人材の確保・就職の支援

産業政策課

● わかやま就職応援プロジェクト＜継続＞ 8,169千円

- ・ 状況に応じて対面・オンラインのどちらでも実施可能な企業研究会等を開催
- ・ コロナ下での効果的な採用活動等について企業向けセミナーを開催

● 働く女性の活躍推進＜継続＞ 2,252千円 産業政策課

各種セミナーや相談ブースを併設した合同企業説明会（託児付き）またはオンライン合同企業説明会を開催

強い農・水産業づくり

～人を育て、よいものを育てる～

農・水産業における担い手不足解消のための施策を講じ、担い手の育成確保を図るとともに、農・水産物の産地化を推進するための支援を行い、ブランド化に向けた付加価値の向上を図ることで、強い農・水産業づくりを目指します。



農・水産業の担い手育成と支援

農林水産課

稼げる産地化・ブランド化の推進

農林水産課

● 市民農園の促進〈継続〉 1,000千円

農業と接する機会を創出するため、市民農園を新設又は増設する際の休憩所などの設置に係る費用を助成

● 遊休農地の解消〈継続〉 700千円

遊休農地の解消と担い手への農地集積を図るため、農地を借りて遊休農地を解消し、農業経営を行う方に補助金を交付

● 漁業の担い手育成支援〈継続〉 8,357千円

新規漁業就業者の育成・確保及び漁村活性化に向けた事業に取り組むことで、将来にわたり活力のある漁村づくりの支援を行う

● 野菜等の産地化推進〈継続〉 1,500千円

複合経営による農業所得の向上を図るため、非かん水期の農業用水を確保するための打ち抜き井戸の設置に係る費用を助成

● つくり育て管理する漁業の推進 〈継続〉 5,111千円

水産資源の増殖を目指し、中間育成と種苗放流を行い、とる漁業から育てる漁業への転換を推進

● 魚礁の設置による沿岸漁場の整備 〈継続〉 20,400千円

マダイ等の幼稚魚の成育環境の保全・創造を図り漁場の生産力を高めるため、加太・友ヶ島周辺海域に魚礁を設置し漁場の整備を推進

中央卸売市場の再整備

～物流の拠点は、にぎわいの拠点としても～

中央卸売市場として、生産者から消費者までの食品流通における合理的で公正な価格を維持するためのインフラ整備を進めるとともに、再編により創出した余剰地等を活用し、みなとオアシス和歌山水軒ゾーンの中心となるにぎわい拠点の創出を目指します。

流通機能の合理化

中央卸売市場

2月補正

● 中央卸売市場の再整備<継続> 1,747,433千円

コールドチェーンにも対応した水産棟の再整備

● 市場DXの推進<新規>

法改正後の様々な流通の変化に対応すべく、卸売市場における販売方法や青果物の流通に関するデジタル推進を民間事業者と連携し進める

- ・「青果バリューチェーンDB」構築による一元管理と可視化
- ・「売り子ール」導入によるドライブスルーサービスの検討



市場事業者の販路開拓

中央卸売市場

● 中央卸売市場海外販路開拓支援（再掲）

卸売市場で流通する生鮮食品の輸出拡大のため輸出に係る費用を助成

みなとのにぎわい創出

中央卸売市場

● 「わかやままるしえ」の活用推進<継続>

月1回程度開催している定期イベントのPRを支援

● 市場南用地の活用検討<継続> 10,000千円

道の駅等の拠点施設の整備等について、官民連携事業としての事業実施条件等を整理し、事業者公募を進める



- ・市場と連携し、全国の新鮮な食品や地域の特産品等を販売
- ・サイクリングロードのゲートウェイにも

“オールシーズン分散型観光”の推進

～密を避けながらつながりを～

一年を通して楽しめる観光資源の活用や、夜間・冬季閑散期等の誘客促進を通じ、密を避けながらも関係人口や交流人口の拡大を図ることのできるオールシーズン分散型観光を推進することで、本市の魅力継続的に発信していきます。

通年型観光資源の活用

交通政策課
スポーツ振興課
道路政策課

●サイクリングルートを活用<継続> 1,177千円

- 太平洋岸自転車道のナショナルサイクルルート指定に向けた取組を推進
- 太平洋岸自転車道の終点地である加太の自転車モニュメントをルートに含めた周遊スタンプラリー等を実施



自転車モニュメントのイメージ



ナショナルサイクルルートの候補ルートに選定

ナイトタイムエコノミーの推進

商工振興課

●魅力ある商店街づくりの支援<拡充> 4,000千円

【内示資料No.10】

商店街の魅力発信するための事業や、夜間における賑わいの創出を図る事業に対し補助金を交付。「新しい生活様式」に対応するために実施する事業に対する補助メニューを追加

夜間景観の形成

●JR和歌山駅周辺イルミネーション

<継続> 5,016千円 商工振興課

駅前での市民や来街者の滞在を促し、JR和歌山駅周辺の活性化を図る



●水辺の魅力向上<継続> 633千円 まちなみ景観課

市堀川の水辺を活かしたライトアップ設備を中橋等の公共施設に設置し、継続してライトアップを実施



主要観光地の魅力の向上・再発見

～遠方からも、ご近所からも おもしろいわかやま～

和歌の浦や加太といった本市の主要観光地における観光客受入環境を向上させ、特に京阪神を中心としたエリアからの誘客や、マイクロツーリズム（ご近所観光）の促進につなげるとともに、BtoBによるインバウンド誘客も図ってまいります。

和歌の浦～万葉かおる景観創造

都市再生課
道路建設課
観光課

●和歌の浦のまちづくり<継続> 125,000千円

道路の無電柱化や民間公募によるガイダンス施設整備等、歴史的風致維持向上計画に基づき事業を実施

●明光通りのトータルプロデュース

<継続> 5,186千円 都市再生課

明光通りの再生に向け、民間主体の活性化を総合的にプロデュースし、和歌の浦らしい業態、環境、まち歩き空間の形成を目指す



加太～歴史と文化で彩る

観光課 【内示資料No.11】

●日本遺産「葛城修験」の活用<新規> 1,231千円

日本遺産に認定された「葛城修験－里人とともに守り伝える修験道はじまりの地－」において、修験道や構成文化財を紹介・解説するため、冊子や看板を作成

まちなみ景観課 【内示資料No.12】

●加太の夜間景観創出<新規> 3,256千円

加太地域の魅力向上・雰囲気醸成を図り、統一感のあるまちなみを演出するため、民家の玄関先にちょうちん等の設置及び文化的な伝統建築物等のライトアップを実施



マイクロツーリズムの促進

観光課

●マイクロツーリズム（ご近所観光）の推進<継続>

本市のご近所観光ルートやご近所観光を楽しむポイントなどを、市HPやSNS等を通じて、市民や近隣住民向けにPR

BtoBによるインバウンド誘客

観光課

●ランドオペレーター等の活用<継続> 625千円

国内にある訪日旅行手配会社への情報提供や、オンラインで開催される商談会への参加を通じ、外国人旅行者の誘客を図る

四季の郷公園のリニューアル

～野生を楽しもう 食べることは、本能だ。～

令和2年にオープンした道の駅「四季の郷公園」を拠点として、農業と観光、食の効果的な融合により、観光客の周遊促進や観光消費の拡大を図るとともに、地産地消等の推進にもつなげてまいります。

関西トップクラスの広さを誇る、「食×農×体験」の道の駅

農林水産課

●道の駅「四季の郷公園」の活用推進<継続>

市内外から訪れる利用者が、四季折々の自然を感じながら安心して遊べるよう環境整備に努め、令和4年のリニューアルオープンを目指す



地域食材レストラン「火の食堂」



農産物直売所「水の市場」

地域食材メニューを楽しめる食堂や、新鮮な農産物などを販売する直売所、情報発信エリアなど

リニューアルオープンに向けた整備改修イメージ

屋外トイレの改修（2か所）



遊具の更新

- ・ローラースライダー
- ・ぶどう複合遊具



- #### 水景の改善
- ・水環境の改善
 - ・水景施設の補修改善
 - ・看板デザイン、サイン 等

FOOD HUNTER PARK

その他、事業者の提案により魅力アップのための整備を実施

I R (統合型リゾート) の誘致 ～家族で楽しめるエンターテインメント施設へ～

I Rの実現は新たな消費需要の拡大につながり、I R区域内だけでなく、I R区域外での様々な産業分野へのプラスの波及効果が期待され、中心市街地を含む市内全体の魅力が向上すると考えています。今後も和歌山県と連携を密にし誘致に取り組みます。

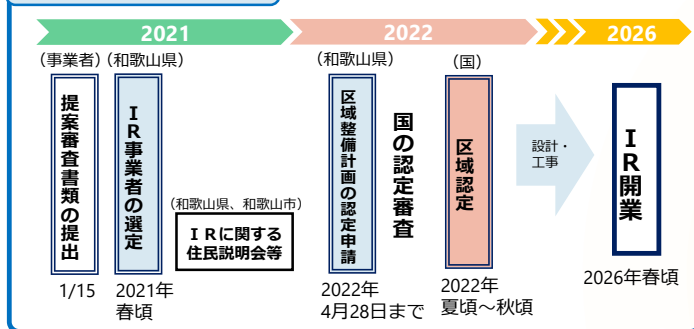
IRに関する周知

企画政策課(R3)
(政策調整課(R2))

● I R 誘致に関する周知<継続> 927千円

I Rの内容及びメリット、デメリット等について周知を図るため、積極的に住民説明会等を開催

今後のスケジュール



I R 来場者数

約400万人/年

※和歌山県 I R基本構想(改訂版) 掲出値

家族で楽しめるエンターテインメント施設へ

交通アクセスの強化・促進

送客施設

まちなかを含む市内全体への経済波及効果



まちなか

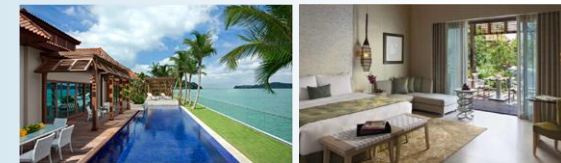
MICE施設

これまでにない大規模な国際会議、展示会、新たなビジネスの起爆剤となる企業系会議等のための施設



宿泊施設

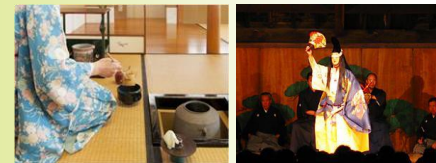
リゾート施設への宿泊客の増加



※写真の著作権はグンティン・シンガポール・リミテッドに帰属します

魅力増進施設

伝統・文化、芸術等を生かした公演等



カジノ施設

カジノ施設の収益を活用しIR施設全体を運営

02 住みたいと選ばれる 魅力あふれるまち

1. ライフスタイルにあわせた地方移住の提案

- ・移住定住の促進

2. にぎわいと魅力あふれるまちづくり

- ・ふたつの玄関口の活性化
- ・中心市街地の魅力向上
- ・和歌山城の魅力向上
- ・個性豊かな地域づくり

3. 未来へとつなぐ豊かな暮らしの形成

- ・2021年、和歌山市は“文化の年”
- ・環境にやさしい社会の形成
- ・スポーツの推進

移住定住の促進

～人とつながる 新しいライフスタイルで暮らす～

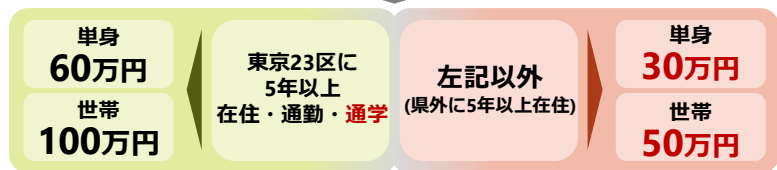
社会情勢の変化に伴い機運が高まっている、都市圏からの多極分散による地方移住を推進するため、移住定住戦略課を新設し、様々なライフスタイルに合わせ地域の特色を生かした暮らしを提案することで、定住人口の増加につなげます。

テレワーク等の推進

移住定住戦略課(R3)
(企画課(R2))

● 県外からの移住者に最大100万円を助成

- **東京23区からの移住者支援の対象拡大<拡充> 20,000千円** 【内示資料No.13】
本市の**関係人口**と認める場合は県マッチングサイト掲載求人以外への就職も対象にするなど、**要件を緩和**
- **上記以外の移住者への支援金を創設<新規> 10,000千円** 【内示資料No.14】



● テレワーク移住の促進<新規> 461千円 【内示資料No.15】

お試し居住施設や移住支援情報について積極的に発信することで、都市部に勤務している個人のテレワーク誘致を促進

● ワークেশョンの導入促進<新規>

加太や和歌浦等の空き家を活用した県外企業へのワークেশョン誘致を推進



イメージ

移住者受入体制の整備

移住定住戦略課(R3)
(企画課(R2))

● 移住者受入活動の支援<新規> 2,527千円 【内示資料No.16】

移住者受入に関し、体制構築の可能性が高い地域において、成功事例等の紹介やワークショップ等を開催し、地域住民の機運を醸成するとともに、移住希望者の受入体制構築を支援する

移住定住戦略課(R3)(企画課(R2))

● お試しショップ(加太・和歌浦)の実施<新規> 5,000千円 【内示資料No.17】

加太地域や和歌浦地域の課題である空き家等を消費を生む店舗としてトライアル的に活用し、移住希望者に地域での起業のイメージをつかんでいただくことで移住促進を図り、地域の活力向上につなげる

子育て支援課

● 三世代同居・近居の促進<継続> 4,000千円

移住・定住に向けた魅力と情報の発信

移住定住戦略課(R3)(企画課(R2))

● 移住フェア等への出展<継続> 905千円

● 効果的な情報発信<継続>

ふたつの玄関口の活性化

～民間活力とともに～

本市のふたつの玄関口について、これまでの取組で積み上げたストック効果を最大限活用し、民間活力も巻き込みながら、更なる活性化を図っていくことで、にぎわいと人の流れをまちなか全体に波及させてまいります。

南海和歌山市駅周辺の活性化

● 現市民会館跡地等の民間活用 【内示資料No.18】 都市再生課

＜新規＞ 2,000千円 (JR和歌山駅東口との合計)

民間活力を活用し、南海和歌山市駅等と連携した更なる賑わいの創出に資する施設を検討。また、市堀川沿いという立地条件を活かし、かわまちづくりとして水辺空間の活用も検討

● 市駅前再開発の検討＜継続＞ 3,000千円 都市再生課

南海和歌山市駅からまちなかへ賑わいを波及させるため、市街地再開発事業などの手法の検討を通じて、活性化に寄与する施設整備を検討

● 和歌山市駅前広場の活性化＜新規＞ 都市再生課

キーノ和歌山内事業者等で構成する協議会を設立し、新たに整備された市駅前広場の活用による更なる賑わい創出を図る

● 河西橋の架替改良＜継続＞ 853,550千円 道路建設課

紀の川北部と中心市街地を結ぶ重要な橋であるものの、幅員が狭隘で老朽化が進んでいることから、安全に通行できるよう架け替えを実施

JR和歌山駅周辺の活性化

● JR和歌山駅東口の民間活用 【内示資料No.18】 都市再生課

＜新規＞ 2,000千円 (市民会館跡地との合計)

駅前広場や現駐輪場用地といった公有地を対象とし、民間活力を活かした賑わい交流の創出に寄与する都市機能や土地活用案を検討



都市再生課 / 企画政策課(R3)(政策調整課(R2))

● JR和歌山駅周辺活性化に向けた検討＜新規＞

駅周辺の活性化に向け、周辺事業者等との連携強化を促進

● わかちか広場の活用推進＜継続＞ 6,460千円 商工振興課

和歌山地域地場産業振興センター事務所跡を整備し、本市地場産業や工業製品等のPRを行う場として活用

● JR和歌山駅周辺イルミネーション(再掲) 商工振興課

駅前での市民や来街者の滞在を促し、JR和歌山駅周辺の活性化を図る

中心市街地の魅力向上

～まちなかを歩こう、まちなかで交わろう～

令和3年秋、市民の文化芸術活動を発信する場、にぎわいの文化交流拠点として和歌山城ホールが完成します。和歌山城ホールを中心に、和歌山城の眼前に生まれる新たな都市空間など、歩いて楽しい空間を創出し、まちなか全体の活性化を図ります。

新たな文化と交流の拠点

令和3年秋
開館予定

文化振興課

●和歌山城ホールの整備<継続> 2,979,897千円

地域の文化芸術の振興及び市内外の交流によるにぎわいの創出を目的として和歌山城ホールを整備し、開館に向けた準備を行う

●和歌山城ホールの管理運営<新規> 112,867千円

【内示資料No.19】

和歌山城ホールを適正かつ円滑に管理運営するとともに、開館記念式典及びこけら落とし公演を実施



整備・活用イメージ

歩きたくなるまちなかへ

●(仮称)城前広場の整備<継続> 38,181千円

都市再生課
管財課

和歌山城の眼前に、観光客や市民の憩いの場を創出するとともに、新規事業者でも容易に出店しやすい店舗を整備し、新たな賑わいが生まれる都市空間を創出

●市道中橋線の整備<継続> 都市再生課

和歌山城からまちなかへの主要導線として、まち歩きの起点となる歩行者中心の道路空間として再編成



整備・活用イメージ

和歌山城の魅力向上

～徳川御三家の居城再現へ～

引き続き、天守閣の整備に係る検討を深めつつ、扇の芝の整備や大名行列の再現など、紀州徳川家の居城であったかつての姿を再現するための取組を推進し、これまで以上に魅力輝く和歌山城を目指します。

史跡としての魅力向上

●天守閣の整備検討〈継続〉 和歌山城整備企画課

●扇の芝の整備 〈継続〉 2,158千円

江戸時代の庶民の憩いの場となっていた扇の芝の史跡指定範囲の拡張・整備を進める



和歌山城
整備企画課

扇の芝整備
イメージ

●江戸時代の生きた歴史を再現

〈継続〉 2,097千円 文化振興課

文化財を活かしまちのにぎわいを創出するため、大名行列等を再現。R3年度は火消・大名行列の道具等を再現



令和元年7月31日
「Living History
(生きた歴史体感プログラム)
促進事業」に採択

和歌山城整備企画課

●和歌山城公園の樹木管理〈継続〉 5,040千円

和歌山城公園の多様な価値の顕在化と調和を図りながら、枯損木等の伐採・整備を進め、石垣や遺構の適切な保存、天守閣と石垣が映える魅力的な景観づくりを推進



個性豊かな地域づくり

～官民にかかわらず、まちの空間資源を使いこなし、地域課題を解決する～

空き家、空き店舗など、遊休化・余剰化している空間資源を積極的に発掘し、再生・活用を図るとともに、各地域の特性を生かした住民主体のまちづくり活動への支援等を通じ、個性と魅力あふれる地域づくりを推進します。

まちなかの活性化

●まちなかの魅力創出 商工振興課

・まちなかイロドリ<継続> 2,956千円

将来まちなかで店舗を構えることにつなげ、まちなかに雇用と産業の創出を図るため、まちなかの空き家・空き店舗を活用して2日間限定で試験的に出店する場を設ける

・まちなか賑わい創出<継続> 2,332千円

若者目線で商店街の活性化を図るため、フィールドワークやワークショップを行い、学生と商店街が連携した商業活性化事業を実施



●まちなかエリアプラットフォーム和歌山 (MAPWA) の活用<新規> 都市再生課

都市再生推進法人を中心としたエリアプラットフォームにおいて、公共空間や遊休不動産の活用など、官民連携による活性化に向けた様々な社会実験や事業等を検討するとともに、まちなかの将来像を検討

加太のまちづくり

●加太リノベーションスクールの開催

<継続> 4,900千円 都市再生課

空き家等の遊休不動産をリノベーションして起業する人材を輩出することで、加太エリアの新たなコンテンツを創造することを目指す

●東京大学加太分室を拠点とした加太の活性化

<継続> 3,000千円 移住定住戦略課(R3)(企画課(R2))

「研究者のまち」としての加太の魅力を向上させるため、加太地域活性化協議会による研究者・有識者の招聘及び活動に係る費用を助成

●地域おこし協力隊による空き家活用支援

<継続> 4,000千円 都市再生課

加太地区で空き家の実態調査（不動産オーナーの意向）を行い、その空き家を活用した起業等をコーディネートする業務を公募で委託

砂山・今福のまちづくり

都市再生課
生涯学習課
道路管理課

●砂山・今福地区のまちづくり

<継続> 2,023千円

都市再生整備計画事業（二期）に基づき、（仮称）地域交流センター整備や道路拡幅を実施

2021年、和歌山市は“文化の年”

～文化に触れ、体験し、継承する～

ふたつの文化の祭典を通じ、広く市民に文化の裾野を広げつつ、和歌山市の魅力在全国に発信するとともに、先人たちの築き上げてきた文化を継承し、その魅力を再発見することで、本市への愛着の醸成につなげます。

文化の祭典

文化振興課

●紀の国わかやま文化祭2021の開催

＜新規＞ 36,373千円 【内示資料No.20】

県下で開催される文化芸術活動の発表、交流などを行う文化の祭典として、以下のとおり実施

令和3年10月30日～令和3年11月21日開催

和歌山市内での開催予定事業

和歌山城ホール、和歌の浦アート・キューブ、和歌山県民文化会館などを会場として開催

和歌山市実行委員会が主催
または共催する事業 20事業

| | |
|----------|------|
| 分野別交流事業 | 10事業 |
| 地域文化発信事業 | 8事業 |
| 障害者交流事業 | 2事業 |



文化関係団体主催事業 22事業



文化部のインターハイ

学校教育課

●紀の国わかやま総文2021の開催＜新規＞

芸術文化活動に取り組む高校生が、日頃の成果を披露する高校生最大の文化の祭典



令和3年7月31日～令和3年8月6日開催

文化を未来に継承し、愛着を育む

観光課

●和歌祭400年に向けた取組＜継続＞ 9,999千円

2022年に迎える和歌祭400年に向けてより一層のPRで機運を高める

●有吉佐和子邸の復元工事の着手

＜新規＞ 121,145千円 【内示資料No.21】 文化振興課

地方創生拠点整備交付金や和歌山市塚本治雄基金を活用し、和歌山市出身のベストセラー作家である有吉佐和子氏の邸宅を復元整備



寝室兼書斎（当時の様子）



展示室イメージ

環境にやさしい社会の形成

～循環型の社会で、自然と共生する～

海洋プラスチックごみの調査など民間企業と連携したSDGsの取組を推進するとともに、循環型社会の形成に向け、資源のリサイクルの推進やごみの減量化に取り組むことで、環境にやさしい社会を目指してまいります。

SDGsの推進

企画政策課(R3)
(企画課(R2))

●花王（株）との連携推進<継続>

花王(株)との連携事業について、庁内連携を強化し、具現化を進める

- ・海洋プラスチックごみの調査、リサイクルの推進
- ・海プラを用いた道路舗装補強剤の開発に伴う連携
- ・暮らしやすい地域社会の実現に向けた講座等の開催
- ・次世代啓発活動（市内小学校での授業等）等

●「海」をテーマとしたSDGsイベントの開催 <新規> 2,000千円【内示資料No.22】

「海の豊かさ」の大切さを体験できるイベントを開催

●庁内におけるSDGsの推進<継続>

全庁的にSDGsの視点を踏まえた業務の推進を図る

●官民連携によるSDGsの取組<継続>

和歌山市SDGs推進ネットワークにおいて、官民が連携し、リーディングプロジェクトの創出を図る



循環型社会の形成



一般廃棄物課

●資源リサイクルの推進<継続> 83,757千円

家庭から排出される資源を収集し、資源化を図る

一般廃棄物課

●新しい集団回収の推進<継続> 3,000千円

回収団体が集めた資源を収集センターが回収し、回収量に応じて奨励金を交付することで循環型社会の形成を推進

収集センター

●小型家電等のリサイクル<継続> 1,860千円

収集センター

●ストックヤード運営事業<継続> 199,324千円

年々増加する処理費用の抑制と適正処理に努め、より多くの資源物のリサイクルに寄与

●ごみ減量の推進<継続> 7,224千円

一般廃棄物課

小学校・幼保育園への環境教育出前講座を実施し、リリクル通信の配信やHPリリクルネットを通じてごみ減量の啓発を実施

●不法投棄対策、災害廃棄物に対する備え <継続> 2,768千円

一般廃棄物課

不法投棄の防止と災害廃棄物の迅速かつ適正な処理の仕組みを構築

観光課【内示資料No.23】

●友ヶ島海岸漂着物等回収処理<新規> 600千円

年間を通して定期的に漂着物を回収処分し、環境改善を図る

スポーツの推進

～体を動かし、心を動かす～

オリンピック・パラリンピックの機運醸成や、和歌山ジャズマラソンの開催等を通じてスポーツへの参加を図り、市民がスポーツを通じて、健やかで明るく、豊かな生活を享受することができるような取組を推進します。

スポーツへの参加促進

スポーツ振興課

●第20回 和歌山ジャズマラソンの開催

＜継続＞ 17,164千円

本市最大のスポーツイベント「和歌山ジャズマラソン」を開催し、市民のスポーツ意識、体力の向上を図る

日本遺産「絶景の宝庫和歌の浦」をめぐる！日本初のミュージックマラソン

和歌山ジャズマラソン



ハーフマラソンの
スタート地点を
和歌山城周辺に



スポーツ文化ツーリズムアワード2020
日本遺産ツーリズム賞 受賞



スポーツの祭典

スポーツ振興課

●オリンピック聖火リレーの開催

＜新規＞ 9,918千円 【内示資料No.24】

東京オリンピックの機運醸成、スポーツに接する機会をつくることを目的として、本市において聖火リレーを開催

●オリンピック・パラリンピック 事前合宿のサポート＜継続＞ 7,664千円

海外ナショナルチームが和歌山市で事前合宿を行う際に、実行委員会として選手のサポートを実施。世界レベルのアスリートを間近で見る機会をつくり、スポーツの振興につなげる

スポーツを通じた交流拠点の整備

スポーツ振興課

●（仮称）つつじが丘総合公園の整備

＜継続＞ 303,173千円

つつじが丘テニスコートを核として、総合的な公園を整備する計画のうち、拠点避難地としても活用できる駐車場等を整備



（仮称）つつじが丘総合公園整備イメージ

03 子供たちが いきいきと育つまち

1. 子育て環境日本一に向けた取組

- ・ 安心して子供を産み育てられる環境の整備
- ・ 子供の健やかな成長に向けた環境づくり

2. 新しい学習・教育

- ・ 社会で輝く力を育む
- ・ ICT等を活用した教育環境の整備
- ・ 読書活動の推進と教育環境の整備

安心して子供を産み育てられる環境の整備

～結婚、妊娠、出産、育児、子育て 切れ目のないきめ細かな支援の網～

待機児童解消に向けた取組を推進するとともに、男女が出会い、安心して子供を産み育てられるきめ細かな支援の網により、子育て世代が住みたいと憧れ、住み続けたいと誇れる子育てに温かいまちを目指します。

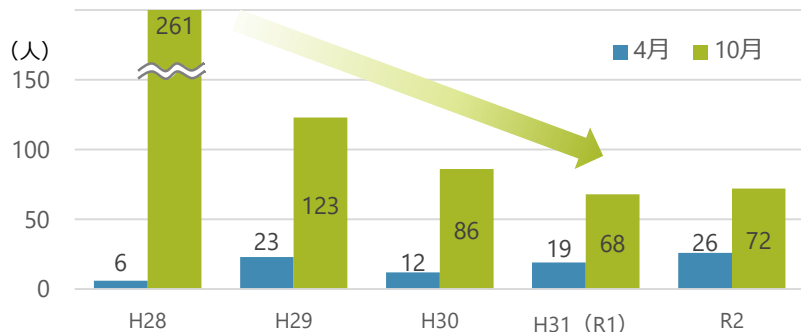
待機児童解消に向けた取組

● 待機児童解消への取組<継続>

- ・ 既存保育施設への定員の増加・維持の働きかけ
- ・ 保育土育成の強化
- ・ 企業主導型保育施設等の活用

保育こども園課
子育て支援課

待機児童数の推移



経済的支援

- **こども医療費助成制度における R4年8月の所得制限撤廃に向けたシステム改修<新規> 5,280千円** 【内示資料No.25】

こども家庭課

- **不妊治療対策<拡充> 159,580千円**

不妊治療に係る経済的負担を軽減する支援制度を拡充

地域保健課

2月補正

出会いの場の創出

子育て支援課 【内示資料No.26】

● 出会い応援事業<新規> 66千円

地区社会福祉協議会や民生委員等の地域で男女の出会いの場を提供してきた世話人同士が連携し、結婚を望む市内の独身者にお見合い型の出会いを応援



妊産婦等へのきめ細かな相談支援

地域保健課

- **子育て世代包括支援センターの運営<継続> 15,461千円**

- **妊産婦健康診査<継続> 265,485千円**

- **産後ケア事業<継続> 5,707千円**

産後に心身の不調又は育児不安等がある産婦を支援
・現在の短期入所型(ショートステイ)に加え、新たに通所型(デイサービス)実施に向けた関係機関との調整等体制整備に向け検討

- **こんにちは赤ちゃん事業<継続> 10,323千円**

- **乳幼児健康診査事業<継続> 28,810千円**

- **発達相談事業<継続> 8,379千円**

- **5歳児相談事業<継続> 9,975千円**
円滑な就学と就学後への切れ目のない発達支援



子供の健やかな成長に向けた環境づくり

～すべての子供の健やかな成長につなぐ、寄り添い型支援の充実～

こども総合支援センターの機能を強化し、児童虐待の未然防止等につなげるとともに、増加傾向にある外国人児童生徒へのサポート体制の強化を図るなど、子供・家庭に寄り添った支援を充実させます。

保護・援助が必要な子供への支援強化

こども総合支援センター

● こども総合支援センターの機能強化

【内示資料No.27】

● 小児精神科医の助言を通じた相談援助の充実<新規> 360千円

支援を必要とする子供への対応に苦慮している保護者への助言のため、小児精神科医等から助言を得ることで早期に医学的アプローチにつなげ、児童虐待の未然防止を図る



● 支援対象児童等の見守り強化<新規> 7,400千円 【内示資料No.28】

子供食堂などの民間団体との連携により、支援ニーズの高い子供等を定期的に見守る体制を確保し、児童虐待の早期発見・対応につなげる

【内示資料No.29】

● 就学援助の充実<拡充> 180,414千円

学校支援課(R3)
(学校教育課(R2))

- 令和3年度国基準単価まで拡充
- 支給費目に「オンライン学習通信費」を追加



外国人児童生徒等へのサポート強化

子ども支援センター

【内示資料No.30】

● 日本語支援ボランティアの配置<拡充> 1,275千円

日本語支援を要する児童生徒に配置する日本語支援ボランティアの派遣回数を増やし、学校・家庭間の連絡や授業中のサポート等体制を充実



● 外国人留学生の派遣<継続> 83千円

日本語支援を要する児童生徒が抱えている不安に対し、外国人留学生が児童生徒の母語による教育相談を実施

学校支援課(R3)
(学校教育課(R2))

不登校児童生徒への支援の充実

子ども支援センター

【内示資料No.31】

● 適応指導教室(ふれあい教室)の充実<拡充> 14,635千円

- ソーシャルスキルトレーニング(SST)の実施
 - チャレンジタイム(体験活動※)の実施
- ※博物館へ行く、調理実習、スポーツ体験、ギター教室等

【内示資料No.32】

● スクールソーシャルワーカーの活用<拡充> 13,184千円

スクールソーシャルワーカー及び教職員を対象とした研修の実施

社会で輝く力を育む

～多様なアプローチで、子供たちの主体的・対話的で深い学びを支える～

35人学級導入を契機としたきめ細かな指導や支援の深化を図るとともに、特別支援教育の充実や中学校の全員給食に向けた調査等を実施します。また、学校・家庭・地域の連携強化により子供の成長を支えます。

教育・支援体制の充実

学校教育課(R3)
(教職員課(R2))

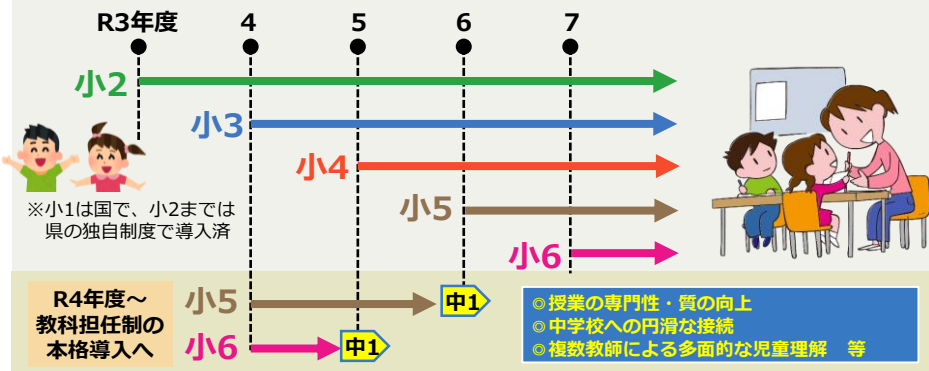
保健給食管理課 [内示資料No.33]

●きめ細かな教育の推進に向けた35人学級の段階的な導入への準備<新規>

国において、公立小学校の全学年で1学級の児童数の上限が35人に引き下げられることを受け、少人数学級編制のメリットであるきめ細かな指導を更に深め、子供たちの学びの進化、豊かな学校生活につなげる

※和歌山市では小学1、2年生は35人学級導入済

<国が示した35人学級の段階的な導入イメージ>



●特別支援教育の充実<継続> 154,012千円

発達障害等により個別対応が必要な幼児児童生徒に対し、学習や生活支援を実施
・特別支援教育支援員等の配置、巡回訪問等

学校支援課(R3)
(学校教育課(R2))

学校教育課(R3)
(教職員課(R2))

●教員の授業力向上のサポート<継続> 450千円

教育研究所

●若竹学級の運営<継続> 505,594千円

青少年課

●中学校全員給食に向けた準備<新規> 9,878千円

学校給食に係る様々な課題を調査するとともに、中学校において全員給食を実施するための給食実施方式を調査



教育政策課 / 学校教育課

●小規模特認校制度の導入検討<新規>

学校の立地条件等により児童・生徒が減少している小規模校について特認校制度導入を検討

メリット

- ・学校規模の適正化において、学校統合の検討対象となる学校の存続
- ・小規模の良さを生かした特色ある学校運営
- ・少人数の良さを生かした授業



学校・家庭・地域の連携強化

●家庭教育の支援<継続> 650千円

生涯学習課

・家庭教育支援サポーターの養成、親子食育講座 等

学校教育課

●コミュニティ・スクールの推進<継続> 529千円

●地域先達との協働・連携<継続> 105千円

教育研究所

ICT等を活用した教育環境の整備

～未来を担う子供たちの学びにイノベーションを～

児童生徒1人1台のコンピュータ端末を活用して緊急時でも学びを止めない環境を整備しました。今後はICTを活用することで個別最適化された学びや創造性を育む学びの実現を目指します。

教育研究所

学びのイノベーションの推進

●教育のハイブリッド化<継続>

対面授業とオンライン授業を組み合わせたハイフレックス型授業や完全オンライン型授業などコロナ下においても対応できるよう授業形態を柔軟に変更

●活用事例の収集と公開<継続>

パソコンを活用した授業実践を研究する教員チームを選抜し、授業実践例を収集、教育情報ネットワークのポータルサイトに掲載

●活用方法等の研修資料作成<継続>

パソコンの活用方法やオンライン学習の注意点など、児童生徒用と教員用の研修資料や活用手引書等を作成

●情報教育研修の充実<継続>

教科指導の中での効果的なパソコンの活用方法等の授業づくり研修、オンライン学習を進めるための実践研修、情報モラル研修等を実施

GIGAスクール構想に向けた環境の整備

市立小中学校の児童生徒1人1台のコンピュータ端末を前倒して整備

平時

教室内で最先端のICT教育を取り入れ、個別最適化された学びや創造性を育む学びの実現を目指す

緊急時

全ての学年の児童生徒が家庭にパソコンを持ち帰り、オンライン学習に活用



加太中学校でのオンライン授業の様子

読書活動の推進と教育環境の整備

～子供たちの健やかな学びと安全・安心で快適なスクールライフの確保へ～

本を通じた心豊かで健やかな学びにつなげるため、学校図書館の環境を整備するとともに、市民図書館を拠点にした読書活動を推進します。また、老朽化が進む学校施設の適切な維持管理、教育環境の改善を図ります。

読書活動の推進

読書活動推進課

● 学校図書館を活用した学習活動の充実

＜拡充＞ 9,219千円 【内示資料No.34】

学校司書を増員し、図書館の環境整備を行うなど、児童生徒の読書活動を推進



学校図書館での読み聞かせの様子

● 市民図書館を拠点とした読書活動の推進

＜継続＞ 388,766千円 読書活動推進課

- ・読み聞かせの実施
- ・子供に薦めたい本の紹介
- ・小学校への配本図書の充実 等



市民図書館 えほんの山での読み聞かせの様子

● 南コミセンの図書室の整備＜新規＞

生涯学習課

子供の安全・安心の確保

教育施設課 2月補正

● 小学校トイレの洋式化＜継続＞ 462,061千円

保健給食管理課 2月補正

● 小学校給食室への空調設置＜継続＞ 96,519千円

教育施設課

● 岡崎小学校の校舎増築＜継続＞ 199,579千円

学級数増加による教室不足に対応するため校舎を増築

● 安原小学校の屋外プール改築

＜継続＞ 228,041千円 教育施設課

老朽化したプールを耐震性と浄水機能を有する施設に改築し、学習環境の改善及び防災機能の強化を図る



04 誰もが安心して住み続けられる 持続可能なまち

1. 誰もが元気に活躍できる社会

- ・ 重層的支援体制の整備
- ・ 誰もが安心できる暮らしの実現
- ・ 健康寿命の更なる延伸
- ・ 人権尊重・男女共同参画の推進等

2. 便利で住みよい地域づくり

- ・ スマートシティの推進
- ・ 行政デジタル化の推進
- ・ 公共交通ネットワークの実現
- ・ 道路網の整備
- ・ 上下水道の整備
- ・ 生活排水対策の推進

3. 災害に強いまち

- ・ 安全・安心なまちづくり
- ・ 命を守る流域治水

重層的支援体制の整備

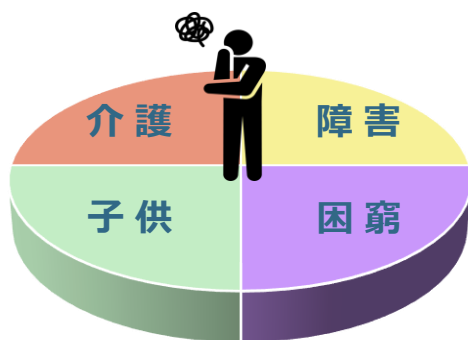
～複雑に絡む生活課題を円滑連携で解決につなげる～

地域住民の介護・障害・子供・困窮といった複雑・複合化した支援ニーズに対応する断らない包括的な支援体制を整備し、住民・行政・支援機関等の相互協力による相談支援・参加支援・地域づくり支援を一体的に実施します。

重層的支援体制による支援

高齢者・地域福祉課

●多機関協働による地域福祉の推進<新規> 43,326千円 【内示資料No.40】



複合・複雑化した支援ニーズに対応する支援体制を整備

住民・行政・支援機関等の相互協力による3つの支援

相談支援

- ・介護（地域包括支援センターの運営）
- ・障害（障害者相談の支援）
- ・子供（利用者支援事業）
- ・困窮（生活困窮者自立相談支援事業）
- これらの相談支援にかかる事業を一体として包括的相談支援事業を実施
- ・複合課題を抱える相談者にかかる支援関係機関の役割等を調整する**多機関協働事業を実施 新**
- ・必要な支援が届いていない人に**アウトリーチ等を通じた継続的支援事業を実施 新**



参加支援

- ・介護、障害、子供、困窮等の既存の取組では対応できない狭間のニーズに対応できるように、ニーズと地域資源との間を調整し、**多様な社会参加を支援 新**



地域づくり支援

- ・介護（地域介護予防活動支援事業、生活支援体制整備事業）
- ・障害（地域活動支援センター機能強化事業）
- ・子供（地域子育て支援拠点事業）
- ・困窮（**生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業 新**）
- これらの地域づくりにかかる事業を一体として実施

誰もが安心できる暮らしの実現

～高齢者の生活の充実と障害者の方の安全・安心な暮らしに向けた支援体制の充実～

2025年、2040年を見据え、高齢者等が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、生活基盤の整備と支援体制の強化に取り組みます。

高齢者等の安心生活の確保

- **住居確保給付金<継続> 35,055千円** 生活支援第2課
 コロナ等の影響による収入減で住居を失った方、又は失うおそれの高い方に一定期間、家賃相当額を支給し、就労促進等自立に向け支援
- **就労準備支援<継続> 990千円** 生活支援第2課
 直ちに就労することが困難な方に対し、一般就労に向けた生活習慣の確立、社会参加能力の形成、就労体験などの支援をプログラムに沿って実施
- **障害者用駐車場への屋根設置<拡充> 8,140千円** 生涯学習課
 【内示資料No.38】
 さんさんセンター紀の川に屋根を備えた障害者用駐車場を設置。安全・安心で快適に暮らせるバリアフリーのまちづくりを推進

高齢者・地域福祉課

- **成年後見制度の利用促進に向けた取組<新規>**
- **高齢者等へのインフルエンザ予防接種の推進<拡充> 218,242千円** 【内示資料No.39】 保健対策課

医療機関の協力により自己負担額を1,000円に減額

安全で安心な市民生活の確保

- **ライフステージに合わせた消費者教育の実施<継続> 827千円** 市民生活課
 ・小中学校での消費者教育充実のため、教育用DVDの貸与、冊子の配布
 ・高齢者を狙った悪質商法・振り込め詐欺をテーマにした講座の開催

相談・支援体制の充実

地域包括支援課

- **地域包括支援センターの運営<継続> 357,319千円**
- **介護予防・日常生活支援総合事業<継続> 1,470,466千円**
 ・生活機能の低下がみられた方に訪問型又は通所型サービスを提供
 ・体操を行おうとする自主グループに対し、専門職がグループの立ち上げや活動継続を支援
 (WAKAYAMAつれもて健康体操、わかやまシニアエクササイズ)
- **在宅医療・介護の連携<継続> 35,504千円**
- **生活支援体制の整備<継続> 45,611千円**
 ・自治会や地区社協等の多様な主体による生活支援体制の整備
 ・住民による地域活動等を促進する生活支援コーディネーターの配置
- **認知症初期集中支援チームの配置<継続> 1,216千円**

健康寿命の更なる延伸

～コロナの重症化予防にもつながらる運動や予防により、健やかで心豊かな生活へ～

新型コロナウイルス感染症の重症化予防にもつながらる健康づくりに取り組むとともに、がん対策の推進等により、市民の生涯にわたる健やかで心豊かな生活につなげます。

重症化予防等の充実

地域包括支援課
国保年金課

● 新しい健康・予防プログラム＜継続＞

目的、体力等に応じて選べる運動プログラムを提供し、自主的な運動の習慣化を図る

- ・ WAKAYAMAつれもて健康体操（再掲）
- ・ わかやまシニアエクササイズ（再掲）
- ・ 国保の運動教室＜継続＞ 3,984千円

● 健康ウォーキングの充実＜継続＞ 442千円

負担に感じにくいウォーキングの継続を促すことで健康増進を図る

地域保健課



保健対策課

● 疾病予防の推進

- ・ メタボに着目した特定健康診査＜継続＞ 295,324千円 国保年金課

- ・ がん対策の推進＜継続＞ 187,429千円 地域保健課
がん検診の実施、肺がん健診の無料化、大腸がん検診の再勧奨

- ・ 高齢者等へのインフルエンザ予防接種の推進（再掲） 保健対策課

- ・ 肝炎ウイルス検査＜継続＞ 8,964千円 保健対策課 / 地域保健課

● 地域自殺対策の強化＜継続＞ 10,896千円

自殺対策に関する普及啓発活動や、ゲートキーパー養成、自殺未遂者支援等を実施

保健対策課

● ひきこもり対策の充実＜継続＞ 3,000千円

相談や訪問支援、居場所の提供等を実施

人権尊重・男女共同参画の推進等

～男女が互いに尊重し合い、人と動物が共生できる社会へ～

地域の課題解決や魅力的なまちづくりに向け、住民相互のつながり強化に向けた取組を進めます。また、人権が尊重され、人と動物が共に幸せに暮らせる社会の実現を目指します。

人権が尊重される社会づくり

人権同和施策課

●人権が尊重される社会づくり<継続> 2,829千円

- ・人権の啓発活動や人権問題の相談・指導・助言等
- ・相談窓口「ネット110番」によるインターネット上の人権侵害への対応
- ・新型コロナウイルス感染症に関連した人権侵害に対して、差別をなくすための啓発活動や相談を実施

動物の愛護と適切な飼育の推進

動物愛護
管理センター

●動物愛護管理センターの強化<継続> 34,670千円

- ・猫の不妊去勢手術の対象を保護動物だけでなく地域猫にまで拡大
- ・譲渡数を増加させ、不幸な猫を減らし殺処分ゼロを目指す
- ・動物から人、人から動物へのウイルス感染を防止するため、換気対策の整備を実施

男女共生社会の実現

男女共生推進課

●男女共同参画社会の実現に向けた取組

<継続> 544千円

- ・第5次行動計画の策定
- ・男女共同参画に関する各種研修や講座の開設
- ・女性活躍推進に関する啓発

●配偶者等に対する暴力の防止のための取組

<継続> 2,892千円

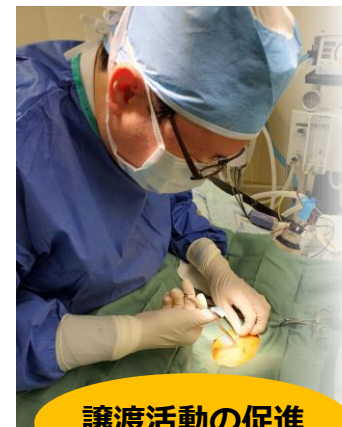
- ・専用ダイヤルによる電話相談や面接相談の実施
- ・若年層を対象とした交際相手からの暴力防止の啓発

犯罪被害者等の支援

人権同和施策課

●犯罪被害者等に寄り添った支援の推進<継続> 49千円

養成講座を通じた職員のスキルアップ向上



<令和2年度実績>
猫の総手術数134匹
(内地域猫対策79匹)

譲渡活動の促進

地域猫活動の
普及啓発

猫の不妊
去勢手術



スマートシティの推進

～便利で暮らしやすい未来に向けて～

先端技術を活用して本市の経済発展と地域課題の解決につなげるスマートシティを推進し、便利で暮らしやすい未来都市の実現を目指します。

未来都市の実現に向けて

企画政策課(R3)
(企画課(R2))

● 先端的サービス導入の可能性等を検討<継続>

スマートシティの推進に向け、交通・情報発信・健康・防災・産業などの分野における先端的サービスの導入の可能性等の検討を深化

交通

- ・次世代交通サービス「MaaS」
- ・自動運転 など

情報 発信

- ・デジタルサイネージによる案内
- ・各地域の魅力発信アプリ など

健康

- ・オンライン診療
- ・健康ポイントアプリ など



安全 安心

- ・児童や高齢者の見守りサービス
- ・豪雨時の河川やため池等の水位収集 など



● (仮称)和歌山市スマートシティ推進協議会の設置<新規>

各分野で行う先端的サービスの具体的な事業プランを策定するため、関係する民間事業者等と推進協議会を設立

● スーパーシティ構想の活用<継続>

スマートシティの推進の取組と並行し、スーパーシティの制度活用のメリットや規制緩和の必要性等を検討



行政デジタル化の推進

～壁を壊し、利便性と効率性を高める～

急速に進むデジタル化に対応するため、新たにデジタル推進課を設置し、行政手続のオンライン化など市民の利便性向上や行政課題の解決を目指します。

行政サービスの利便性向上

デジタル推進課(R3)
(市政情報課(R2))
(情報システム課(R2))

● 行政手続のオンライン化推進<継続>

市役所への手続について、インターネットを利用したオンライン申請ができる手続を増やす

● 公金納付のキャッシュレス化<新規> 行政経営課

キャッシュレス化を行い、公金納付の際の接触機会の軽減、また市民の利便性向上を図る

デジタル推進課(R3)
(行政経営課(R2))

● 窓口申請のデジタル化の検討<新規>

● 窓口の一元化の検討<新規> 行政経営課

● LINEを利用した情報発信の拡充

<拡充> 1,089千円【内示資料No.35】 広報広聴課

市民一人ひとりに応じた情報の配信や自動応答により適切な市ホームページへの誘導を実施

新しい働き方への取組

デジタル推進課(R3)
(情報システム課(R2))

● 働き方改革の推進<継続> 724千円

- ・ ペーパーレス会議の導入検討
- ・ 電子決裁の導入検討
- ・ WEB会議環境の充実
- ・ テレワークの環境整備
- ・ システム内製化の検討

マイナンバーカードの普及促進

デジタル推進課(R3)
(市政情報課(R2))

● マイナンバーカードの普及促進<継続>

市民への広報を通じて、マイナンバーカードの普及を推進



公共交通ネットワークの実現

～地域拠点をつなぎ未来へつなぐ、持続可能な交通インフラ～

多極型コンパクトシティを形成するため、持続可能な次世代交通ネットワークを研究するとともに、交通不便の解消に向けて検討してまいります。

次世代交通の研究

交通政策課

●次世代につながる公共交通システムの導入検討<新規>

南海電鉄と 共同研究



BRTのイメージ

- ・ I R 誘致実現を見据え、大幅に増加する観光客の輸送や生活・交通の利便性向上、さらに採算性を向上させるため、基幹公共交通軸としてBRT等の導入を検討
- ・ BRT等の導入による基幹公共交通軸の強化を通じた、市全域の将来的な公共交通ネットワークの再編による市内全体の利便性の向上に向けた研究を実施

将来の自動運転など
次世代の公共交通システムへ

交通不便の解消

交通政策課

●デマンド型乗合タクシーの運行<継続>

利用啓発により地域での定着を図りながら、更なる利用者ニーズ等実情に応じた柔軟な運行方式を検討



●地域バス実証運行の検討<継続>

交通政策課

バス路線が廃止された地区や公共交通不便地域となっている地区において、スーパーや病院等を経由し最寄りのバス停や鉄道駅につなぐ地域バスの実証運行について検討

●元気70パスの充実に向けた実証実験

<拡充> 4,828千円【内示資料No.36】

高齢者・地域福祉課

高齢者の外出支援促進を目指し、元気70パスの新たな選択肢として貴志川線の追加による効果検証の実験を実施

道路網の整備

～人流と物流を支え、まちを形づくる～

交流人口の拡大・産業の活性化に向け、国や県に対して京奈和・第二阪和連絡道路の事業化を要望し、和歌山環状道路の実現に向けて取り組むとともに、地域の安全・安心・便利な生活を支えるための道路整備を進めます。

●和歌山環状道路の新広域道路交通計画への位置付け<継続>

和歌山環状道路の新広域道路交通計画への位置付けを働きかけ

道路政策課

●京奈和・第二阪和連絡道路の事業化を促進<継続> 2,342千円

和歌山環状道路の一部である京奈和・第二阪和連絡道路について早期事業化を働きかけ

道路政策課(R3)
(街路建設課(R2))

●国道42号和歌浦地区歩道整備<継続> 983,040千円

歩道整備等に必要となる事業用地について国からの委託を受け先行取得を実施

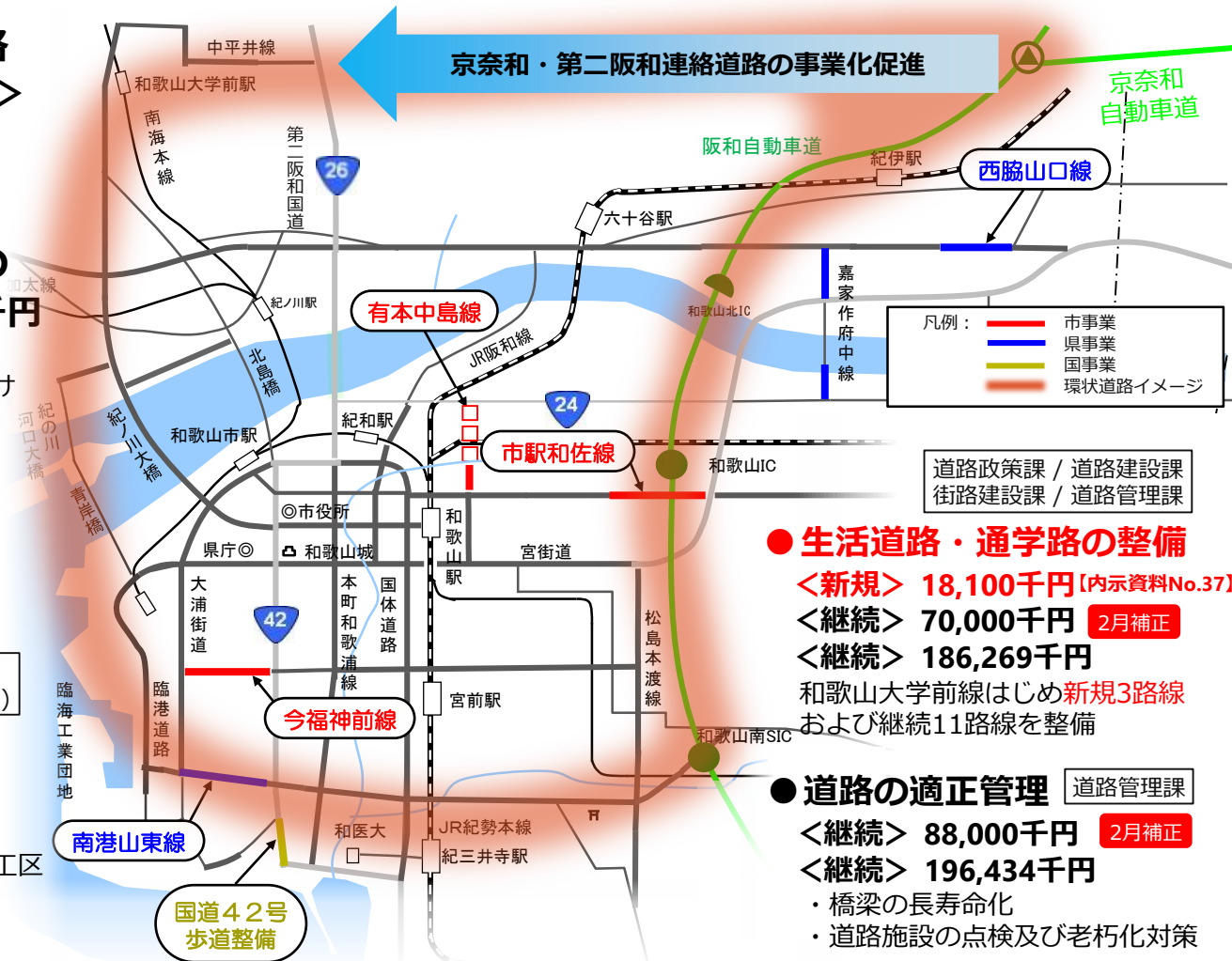
道路建設課(R3)
(道路建設課 / 街路建設課)(R2))

●都市計画道路の整備

<継続> 260,200千円 2月補正

<継続> 370,465千円

- 市駅和佐線 : R4年度の供用を目標に鳴神工区及び栗栖工区で整備を実施
- 有本中島線 } : 整備に向けて用地取得を実施
- 今福神前線 }



上下水道の整備

～安定した生活環境の確保へ～

老朽化した配水管の更新・耐震化や浄水場の設備更新を行うことにより、安定給水の確保を図るとともに、配水池の緊急遮断弁の設置や雨水ポンプ場の整備を進めることで安全を確保した環境整備に取り組みます。

老朽インフラの点検と更新

管路整備課
水道企画課

●配水管の整備<継続> 2,314,124千円

老朽化した配水管の更新、耐震化、各水系間の相互連絡等の配水管を布設



●加納浄水場の設備更新<継続> 89,817千円

加納浄水場の老朽化した急速ろ過池の更新等を実施

水道企画課



加納浄水場

防災対策の推進

上・工業用水道管理課

●配水池の防災対策<継続> 97,955千円

秋葉山配水池に緊急遮断弁を設置し、大地震時は市民の生活用水を確保



秋葉山配水池

●雨水ポンプ場の整備<継続> 689,359千円

浸水被害の軽減のため、ポンプ場の建設を推進

下水道施設課

松江雨水ポンプ場の建設

R3年度は築造工事としてポンプ場の杭、基礎など地下構造物の建設工事を実施



松江雨水ポンプ場完成予想図

生活排水対策の推進

～快適で衛生的な環境づくり～

公共下水道について事業計画区域の効率的な整備を進めるとともに、事業計画区域外においても合併処理浄化槽などの生活排水処理施設の整備を継続して推進します。

公共下水道の整備推進

●公共下水道整備（污水）

＜継続＞ 1,166,140千円 下水道企画課

下水道普及率向上に向け、効果的・効率的な整備を推進

R3整備面積 ・中央処理区 12.9ha
・北部処理区 5.9ha



●水洗便所等改造費助成制度等

＜継続＞ 16,965千円 営業課

公共下水道の供用開始後、
接続工事にかかる費用を助成（1件：5万円）
不要な浄化槽の雨水貯留槽改造費用を助成（上限：10万円）

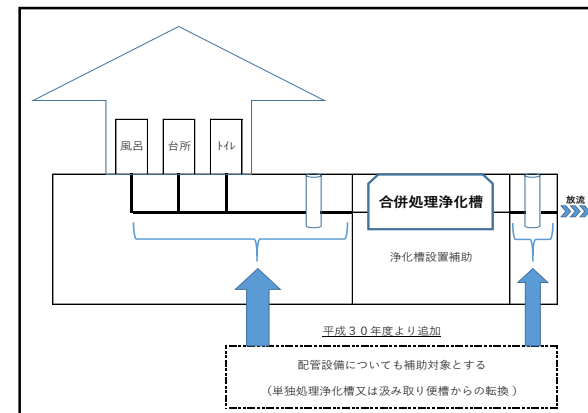
生活排水対策の推進

浄化衛生課

●公共下水道事業計画区域外における生活排水処理施設の整備推進

＜継続＞ 244,312千円

- ・合併処理浄化槽を設置する者に補助金を支出
- ・汲取便槽及び単独処理浄化槽からの転換は配管設備も補助金を追加で支出



安全・安心なまちづくり

～安心を届けるための災害の備え～

災害時に迅速かつ的確な災害対応が実施できるよう体制を整備するとともに、和歌山南SIC付近に緊急消防援助隊の後方支援機能を備えた活動拠点を整備することで、緊急消防援助隊の活動をより効果的にします。

災害発生時の体制強化

消防総務課

●和歌山市消防活動センターの運用開始 ＜継続＞ 31,104千円

大規模災害時、県外からの緊急消防援助隊の受入体制を強化



他府県からアクセスが容易な和歌山南SICに近い場所に広域活動拠点を整備することで緊急消防援助隊の活動がより効率的に

●常備消防力の強化＜継続＞

消防局3署3分署体制の構築（岡崎出張所→岡崎分署）

地域安全の強化

地域安全課

●防犯カメラ設置補助＜継続＞ 2,000千円

自治会が設置する防犯カメラの設置費用を補助することで犯罪防止を図る

●防犯灯新設補助＜継続＞ 1,350千円

自治会が新設する防犯灯の費用を補助することで、夜間における犯罪を防止し、公衆の安全を図る

●防犯灯のLED化補助＜継続＞ 18,750千円

自治会の防犯灯修繕費を補助し、令和5年度までに既設防犯灯のLED化100%を目指す

危機管理体制の強化

総合防災課

●防災行政無線の再整備＜継続＞ 62,986千円

平成28年度策定の基本設計に基づき、アナログ局のデジタル化に併せ、再整備（5か年計画）を実施し、市内全域の可聴範囲を100%とする

●災害時用備蓄品の整備＜継続＞ 920千円

大規模災害時の物資確保の困難性を勘案し食料や飲料水等の備蓄を推進

命を守る流域治水

～あらゆる関係者が協働し、流域全体での面的な強化へ～

近年の水災害の激甚化を受け、気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域全体のあらゆる関係者（国・県・市・企業・住民）が協働して流域全体で持続可能な治水対策を進めます。

氾濫を防ぐための対策

● 紀の川の治水対策促進に向けた取組を強化<継続>

河川港湾課

国への要望の結果、新六箇井堰の部分的な切り欠きによって滲筋を河川中心部に寄せる効果の検討に国が着手



国土交通省 水管理・国土保全局長への要望書受渡し（令和2年10月6日）

● 国営農地防災事業の推進<継続>

耕地課

国が事業主体となり県・市・土地改良区の連携のもと、和歌山市から紀の川市に至る地域において排水対策として農業用排水路や排水機等の改修を実施



千旦樋門工事

● ため池の改修<継続> 19,850千円 2月補正 耕地課 <継続> 39,615千円

ため池の防災力の向上を図るために改修等を実施

流域治水の
計画・体制の強化

被害対象を減少
させるための対策



氾濫をできるだけ
防ぐための対策

被害の軽減
早期復旧・復興の
ための対策

R3.2.2に閣議決定した 流域治水のイメージ

避難体制の整備

● 避難計画作成の啓発活動<継続>

地域安全課

出前講座において、ハザードマップを用いて浸水区域外への避難を促すとともに、「わたしの避難計画シート」を活用し、避難計画を思案してもらうなど啓発を実施



出前講座

令和3年度当初予算の概要

○ 一般会計予算

144,664,324 千円

| 増減率 | 増減額 |
|---------|----------------|
| (△3.0%) | (△4,458,079千円) |
| △3.8% | △5,649,979千円 |

○ 特別会計予算

97,286,855 千円

| 増減率 | 増減額 |
|-------|--------------|
| △1.7% | △1,675,738千円 |

○ 公営企業会計予算

39,166,200 千円

| 増減率 | 増減額 |
|---------|--------------|
| (△2.2%) | (△889,336千円) |
| △2.1% | △858,736千円 |

○ 予算合計

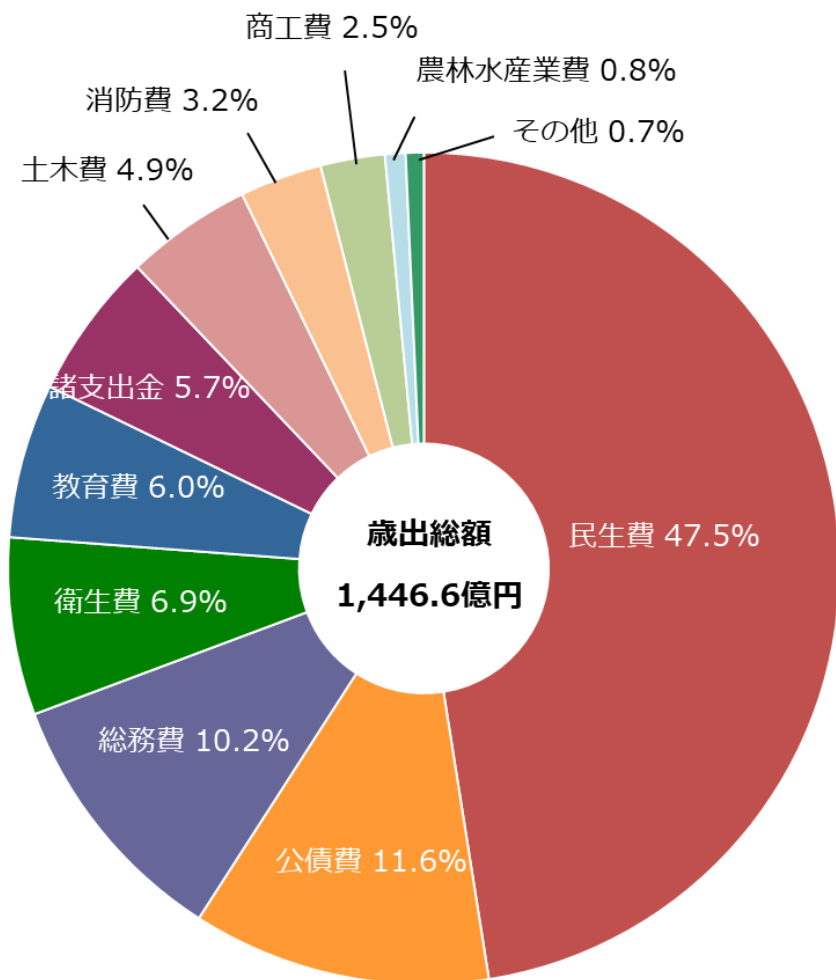
281,117,379 千円

| 増減率 | 増減額 |
|---------|----------------|
| (△2.4%) | (△7,023,153千円) |
| △2.8% | △8,184,453千円 |

() 内は、借換えの対象となった元金償還金を除いた額です。

一般会計歳出の状況（目的別）①

（１）款別予算額の構成比



構成比の前年度からの増減

増

- ◆ 民生費 +1.9ポイント
(45.6%→47.5%)
- ◆ 衛生費 +1.3ポイント
(5.6%→6.9%)

減

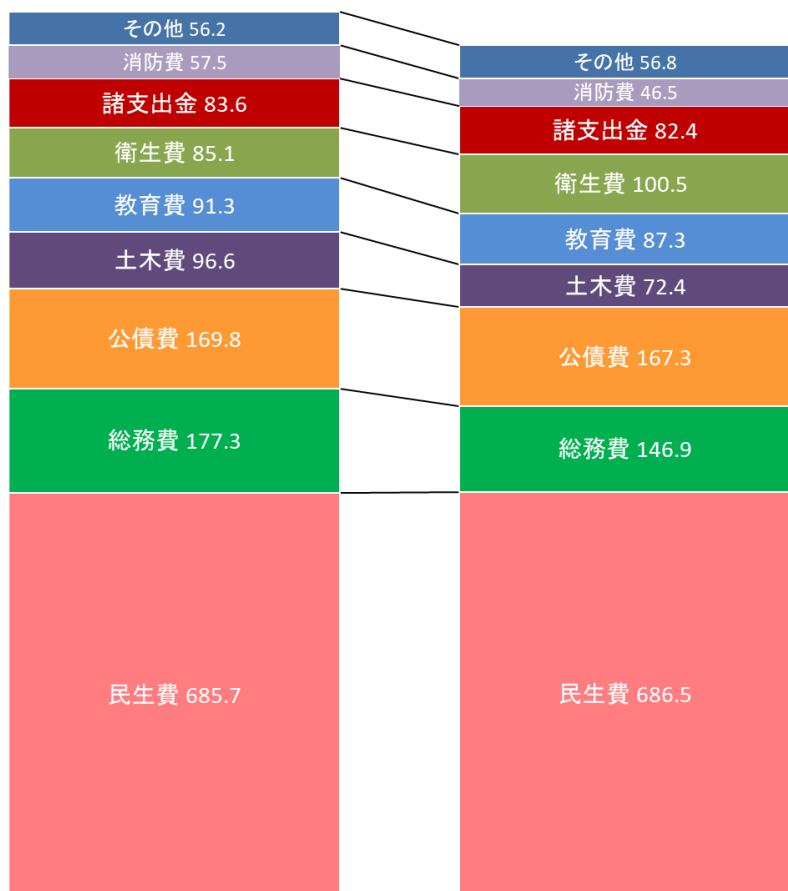
- ◆ 総務費 △1.6ポイント
(11.8%→10.2%)
- ◆ 土木費 △1.5ポイント
(6.4%→4.9%)
- ◆ 消防費 △0.6ポイント
(3.8%→3.2%)

一般会計歳出の状況（目的別）②

（2）款別予算額の年度間増減

前年比△56.5億円
(△3.8%)

| 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------------|------------------|
| 1,503.1億円 | 1,446.6億円 |



増

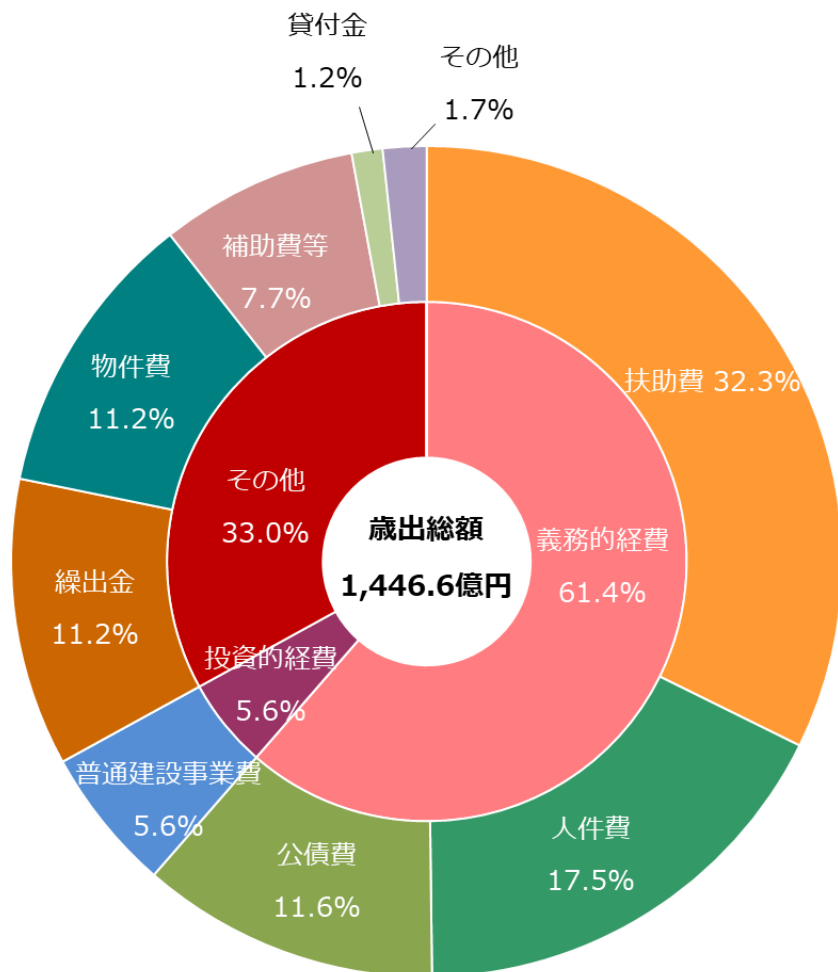
- ◆衛生費 +15.4億円 (+18.1%)
 - ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 +14.6億円
 - ・新型コロナウイルス感染症対策事業 +1.0億円
- ◆商工費 +2.2億円 (+6.4%)
 - ・企業立地促進奨励金 +1.4億円
 - ・サテライトオフィス等開設支援補助金 +0.9億円

減

- ◆総務費 △30.4億円 (△17.1%)
 - ・和歌山城ホール整備事業 △24.0億円
- ◆土木費 △24.2億円 (△25.1%)
 - ・地方道整備事業 △6.1億円
 - ・道路施設老朽化対策事業 △4.3億円
 - ・汐見団地建替事業 △2.9億円
- ◆消防費 △11.0億円 (△19.1%)
 - ・消防活動センター整備事業 △11.4億円

一般会計歳出の状況（性質別）①

（１）性質別予算額の構成比



（ % ）は前年度の割合

| | |
|------------|------------------|
| ○ 義務的経費の割合 | 61.4% (60.1%) |
| ○ 投資的経費の割合 | 5.6% (9.8%) |
| ○ その他の割合 | 33.0% (30.1%) |

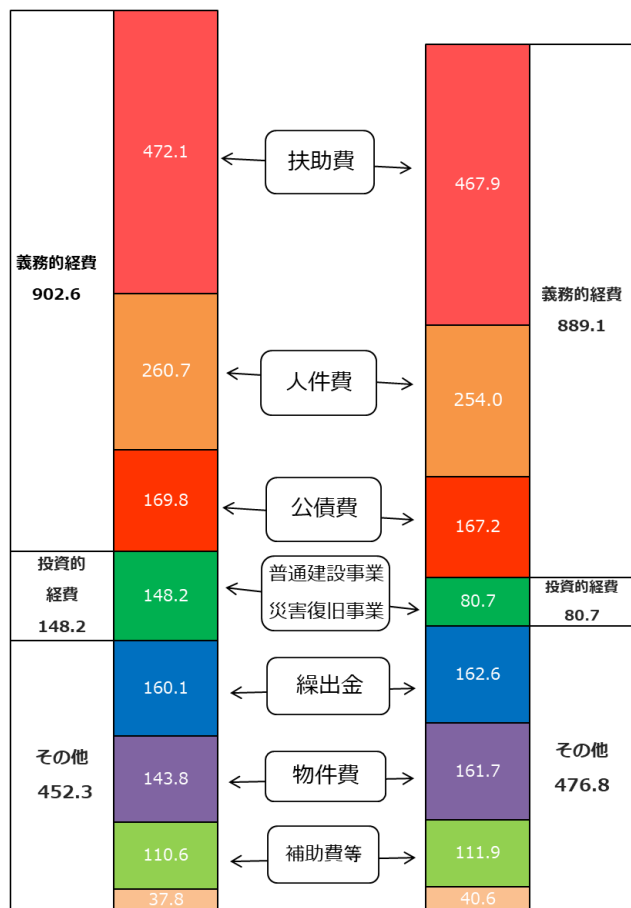
- ◎ 割合が増加
物件費・扶助費など
- ◎ 割合が減少
普通建設事業費

一般会計歳出の状況（性質別）②

（2）性質別予算額の年度間増減

前年比△56.5億円
(△3.8%)

| | |
|------------------|------------------|
| 令和2年度 | 令和3年度 |
| 1,503.1億円 | 1,446.6億円 |



◆義務的経費 △13.5億円 (△1.5%)

- ・人件費 △6.7億円 (△2.6%)
退職金 △2.8億円
- ・扶助費 △4.2億円 (△0.9%)
生活保護扶助 △4.2億円
児童扶養手当・児童手当 △1.7億円
障害者福祉サービス等給付費 +2.2億円
- ・公債費 △2.6億円 (△1.5%)
元金償還金 △1.0億円
長期債利子 △1.6億円

◆投資的経費 △67.5億円 (△45.5%)

- 和歌山城ホール整備事業 △24.0億円
- 消防活動センター整備事業 △11.4億円
- 地方道整備事業 △6.1億円
- 道路施設老朽化対策事業 △4.3億円
- 平井複合館整備事業 △3.1億円

◆その他 +24.5億円 (+5.4%)

- ・物件費 +17.9億円 (+12.5%)
新型コロナウイルスワクチン接種事業 +14.6億円
地域包括支援センター運営事業 +3.6億円
- ・補助費等 +1.3億円 (+1.2%)
企業立地促進奨励金 +1.4億円
- ・繰出金 +2.5億円 (+1.5%)
介護保険事業 +2.2億円 後期高齢者医療 +1.5億円

一般会計歳入の状況①

(1) 自主財源と依存財源の割合



(%) は前年度の割合

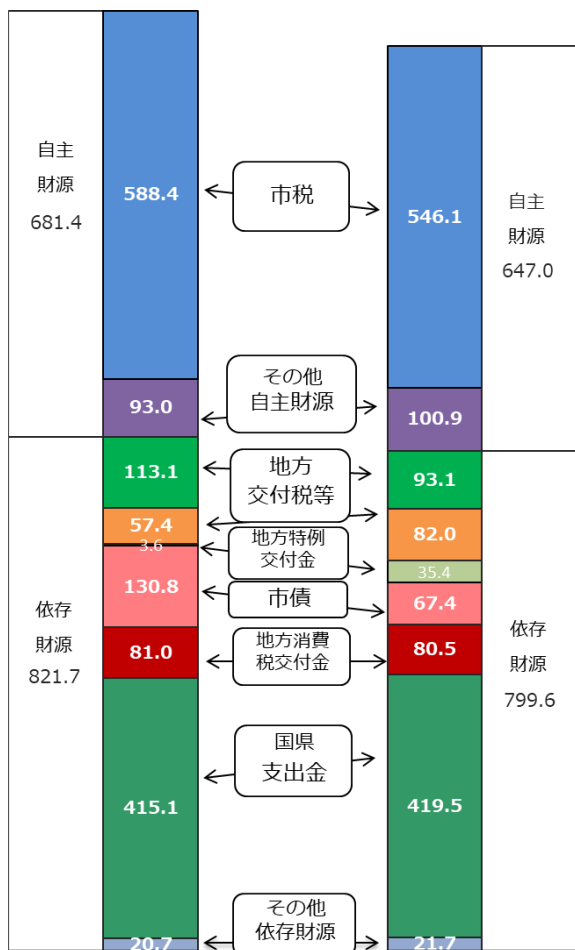
- **自主財源 647.0億円**
構成比 44.7% (45.3%)
- **依存財源 799.6億円**
構成比 55.3% (54.7%)

一般会計歳入の状況②

(2) 年度間増減

令和2年度
1,503.1億円

令和3年度
1,446.6億円



自主財源 $\triangle 34.4$ 億円 ($\triangle 5.1\%$)

○市税 $\triangle 42.3$ 億円 ($\triangle 7.2\%$)

- ・固定資産税及び都市計画税の減等

○その他（繰入金等） $+7.9$ 億円 ($+8.5\%$)

- ・財政調整基金繰入金 $+5.6$ 億円

依存財源 $\triangle 22.1$ 億円 ($\triangle 2.7\%$)

○地方交付税 $+4.6$ 億円 ($+2.7\%$)

- (臨時財政対策債を含む)

○地方特例交付金 $+31.8$ 億円 ($+884.2\%$)

- ・新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金 $+31.8$ 億円

○市債 $\triangle 63.4$ 億円 ($\triangle 48.4\%$)

- ・建設事業債の減(災害復旧含む) $\triangle 50.9$ 億円

○国県支出金 $+4.4$ 億円 ($+1.1\%$)

- ・新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 $+12.5$ 億円
- ・重層的支援体制整備事業交付金 $+4.1$ 億円
- ・生活保護費負担金 $\triangle 3.3$ 億円
- ・土木費関係補助金及び交付金 $\triangle 9.1$ 億円